

書体の違いを理解する

パソコン小話（ 40）

今回は、文章入力で、文字の書体の選び方によって、見た目の体裁ががらりと変わる事をお話しします。

文書によっては、文字が1行目と2行目で、きちんと基盤の目の様に並べたいと思われると思います。

下記のサンプル、AとBは、ただ書体を変えただけですが、だいぶ感覚が違いますね。

AとBは、同じ大きさの文字です。

Aの方は、縦方向にも上下がきちっと揃っています。

Bの方は、きゅっと締まった感じで、縦方向の上下が揃っていません。

これは、書体にPがあるか無いかの違いです。

Pは、プロポーショナルフォントの略で、均整がとれた書体です。

この**P**が付く書体を使って、上下の文字位置を合わせようとしても合いません。**P**なしの書体に変えない限り無理です。

ただ、書体によっては、**P**無しでも揃わない事があるので、上下の文字位置をピタッと合わせようとする、色々書体を試す必要があります。

どちらがいいかは、用途、好みの問題です。

A：書体・・・MS明朝 フォントサイズ・・・12pt

1. 日にち 2015年12月15日
2. 内 容 Windows10入門コース

B：書体・・・MS P明朝 フォントサイズ・・・12pt

1. 日にち 2015年12月15日
2. 内 容 Windows10入門コース

ワードなどで文書を作成する際のご参考にしてください。

ずいぶん昔に、同様なメールを出したような、無いようなです。